

精神障害リハビリテーション学演習

[演習] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 浅野雅子 児玉壮志 近藤里美

【概要】

日々の実践を進めていく中で発見された援助技術や援助方法を、精神障害者リハビリテーションサービスの質の向上に役立てることは重要である。本講義では精神科リハビリテーションの実証的研究を行うため、実践で行われている技術や方法などの有効性を科学的に明らかにするための研究方法について学ぶ。研究計画の作成、研究の実践、論文にまとめる行程を経て、最終的に実践研究が行えるようになることを目標とする。

【学修目標】

精神障害リハビリテーション学特論の学習目標に加えて、精神障害リハビリテーション領域における研究の歴史的経過と動向、ならびに科学性の向上のための研究領域とその方法について述べることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の概要、学習目標・内容、スケジュール、学習方法の説明を行う。	浅野雅子 児玉壮志 近藤里美
2 { 15	精神科リハビリテーション	精神障害領域におけるリハビリテーションの実践について、最新の研究論文を用いてクリティカルレビューを行い、その内容を報告する。	浅野雅子 児玉壮志 近藤里美

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

講義への参加態度（30%）、課題（40%）およびディスカッションへの参加状況（30%）により評価する。

【教科書】

適宜資料を配布・紹介する。

【備考】

講義とディスカッションを中心に進め、当該領域の理解を深める。

【学修の準備】

関連の文献等関係資料を各自調査し、学習すること。（予習80分、復習80分）

【実務経験】

浅野雅子（作業療法士） 児玉壮志（作業療法士） 近藤里美（音楽療法士）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関や地域での臨床経験を活かし、最新の研究論文を用いてクリティカルレビューを行う。